

土研新技術ショーケース2025 in 福岡
令和7年 12月4日

環境DNAを活用した 環境情報の高度化

国立研究開発法人 土木研究所
流域水環境研究グループ（流域生態チーム）
特任研究員 村岡 敬子



環境DNA たったバケツ一杯の水から生物情報！



現地では水を汲むだけ

捕獲をせずに生物情報を得る

令和8年度から始まります 河川水辺の国勢調査 魚類環境DNA調査

土木研究所では、国土交通省と連携した全国調査、様々な機関と連携した共同研究などを通じ、河川管理の現場における環境DNAの標準化を進めてきました。

土木研究所からは、河川水辺の国勢調査に関わる事項を中心に展示説明します。

どんな技術？ 環境DNA調査技術

河川水辺の国勢調査と環境DNA（河川版） 全国調査でわかってきたこと

河川水辺の国勢調査のための採水器具の取り扱いとフィールドブランク

環境DNA調査時における調査地点間隔の設定が確認種数に与える影響

生態系の保全に向けた分析残サンプルの保管と有効活用

どれも水国の環境DNA調査の調査計画の立案や現場での採水で大切な情報です

4ヶ月後です

R 8 から 河川水辺の国勢調査 魚類環境DNA調査

環境DNAを活用した 環境情報の高度化に関する共同研究 R4-6

国研 土木研究所

流域水環境研究グループ
流域生態チーム

指定機関（2者）

国研 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所

国研 農研機構

民間事業者（11者）

いであ株式会社
株式会社ウエスコ
株式会社エコー
応用地質株式会社
株式会社建設環境研究所
株式会社建設技術研究所
日本工営株式会社
大成建設株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
公益財団法人リバーフロント研究所
一般社団法人水源地環境センター

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究報告書

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究概要集



研究を担当した技術者がパネル会場にて直接説明いたします！

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究 R4-6

～外せないスポットはどこだ？

環境条件から検討する採水地点～

河川における効率的な環境DNA採水条件の検討

パシフィックコンサルタンツ 株式会社

生物情報を面的に捉える！

環境DNAデータを用いた流域における

魚類のポテンシャルマップ作成

株式会社 建設環境研究所

魚だけじゃない、もっと使える環境DNA！

両生類の生息状況の把握に向けた取り組み

大成建設 株式会社